

DSG が故障しても怖くない!?

うしぶせ自動車なら交換ではなくリビルト修理!!



輸入車に限らずミッション系のトラブルは非常に厄介。一般的には修理に多額の費用が掛かるため場合によっては車両自体を換える…すなわち乗り換える方がベター！なんて話もあるほど。だがそんな認識も「うしぶせ自動車」に來れば 180 度変わってしまうこと確実なのだ。

USHIBUSE

うしぶせ自動車

問：うしぶせ自動車 住所：静岡県沼津市西島町 19-25 TEL:055-931-9260 <http://www.ushibuse.jp>

DSG に関しては間違いなく 日本一のノウハウを誇る

結論から先に書こう。うしぶせ自動車の凄さ、それは通常、「基本的に修理困難」が定説ともなっている DSG を問題なく直してしまっプロショップだから。もちろん、たとえトラブルが発生してもディーラーに持ち込めば解決は可能。だが、この場合の手段は DSG を丸ごと新品へと取り換えてしまう交換修理。ゆえに膨大な費用がかかり、結果的には車両そのものを乗り換えるかどうかという決断まで迫られるケースも少なくなかった。

こうした状況に 8 年前、アイシン製



河田憲一郎 代表

「予約対応が基本。早期修理態勢を整えておりますのでお越しいただければ日帰り対応も可能です」。



これぞサービスファクトリーといった感じの店舗外観。基本的に修理専門ゆえ多くのプロショップのようにユーズドカーの展示販売はない。

6 速 A T が抱えていたバルブボディのトラブル修理技術を確認、ゴルフ V の変速シヨック改善で一躍全国のユーザーから注目されたうしぶせ自動車が風穴を開けるべく立ち上がる。後に V W 車の主力ミッションとなった DSG へも対応すべく研究を続け、修理上のネックだった特殊工具や部品の入手ルートを独自に確立。乾式 7 速クラッチ修理の確実な方法を見つけ出すなど技術にも磨きを掛けて的確、かつリーズナブルな修理を可能にした。現在、パーツメーカーとしての取引先は国内に加えて海外も 6 社を数えるなど着々と広がっており、河田代表自身も年に一度は海外のショーやパーツメーカーを回

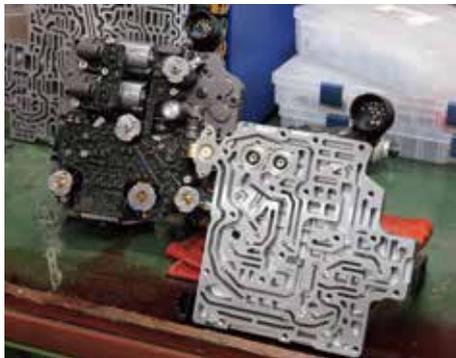


作業台上には分解された DSG のギア部分が置かれていた。入念にチェックして歯欠けなどの致命的なトラブルがなければ再度組み直して使用される。左写真の手前に映っている大きなパーツはハウジング。

VW の DSG には湿式と乾式があり、ギアも 6 速と 7 速の 2 種類。ちなみに乾式 7 速はゴルフ VI と VII、サ・ビートル、トゥーラン、シャランなどに搭載。症状としてはクラッチの摩耗によるジャダーが多いそうだ。



国内ではうしげ自動車しか備えている整備工場はないイギリス製バルブボディテスター。一般的なトルコン AT の心臓部にあたるバルブボディを単体でチェックできる優れモノ。



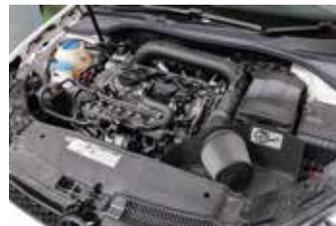
バルブボディ本体。分解すると内部はまるで迷路を思わせるような油圧回路となっている。この間に流れるオイルをコントロールすることで変速操作へとつなげる。



乾式 7 速のダブルクラッチについても OEM 品販売を行っている。「調整用シムも 20 枚入っているので便利ですよ!!」とのこと。



最新診断機を揃えているので高年式 VW 車への対応もバッチリ。まさにどんなトラブルも大丈夫なクルマの総合病院的プロショップなのだ。



ミッションの修理だけでなくエンジンをはじめ、他の整備もトータルでサポート。元ディーラーメカニックが揃っているプロ集団のうしげ自動車ならではの。



DSG の整備技術を全国津々浦々まで広く普及させるべくセミナー活動に取り組んでいる河田代表。実は「静岡県自動車整備商工組合理事長」まで務めている実力者。

って最新情報収集に努めている。「トラブル判定は最初の診断が重要。エラーコードを読み取ることで症状が推測できます。原因はクラッチ以外にもコンピュータ、フライホイール、ベアリングなどが関係してきますから、的確に診断できればより確実な修理が行えるんです」。DSG を車両から降ろし、分解してリーズナブルに修理。恐ろしく日本にプロショップは数多くあれど、これほどの技術を有する「ミッションスペシャリスト」は他に知らない。現在は VW に加え、同じ基本構造を持つアウディの S トロニック搭載車も毎日のように入庫するとの話も。トラブル

に悩んでいるユーザーの数を考えれば納得である。まさに悩めるユーザーの救世主と呼べるうしげ自動車だが、決して DSG 修理を独占するつもりはない。それどころか培ってきた技術を広めるべく全国の自動車整備工場対象にセミナーを開催し、修理ノウハウの拡普及に尽力しているほどなのだ。「ユーザー目線と考えた場合、できれば修理は自宅近くでできる方が嬉しいのは当然。だから当社みたいな場所が全国に増えればいいな、と考えたんです」。来店すれば 9 基備えたりフトによりスピーディな作業が受けられるが、行くまでの手

間はどうしてもかかってしまう。それならば修理拠点を全国に増やせばいい。まさにユーザー利益が念頭になければ出てこない発想でもある。「去年の 10 月から全国への部販販売も開始しました」と河田代表、そう遠くない将来には他地域でも同レベルのサービスの受けられる自動車整備工場が出現すること确实だ。

このほか DSG 同様に対応が難しい BMW 搭載の ZF 製 AT も修理を可能にすべく専用テスターを導入するなどミッションに関しては全方位隙なし。万が一トラブルに見舞われたら、まずは連絡すべきプロショップである。